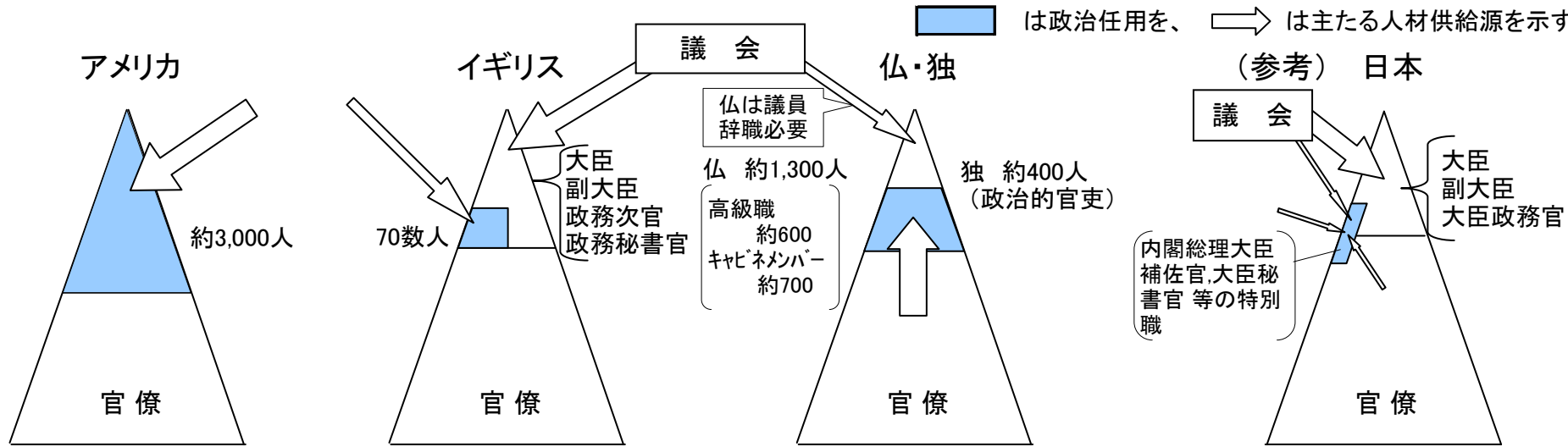


各国における政治任用の概念図

公務員制度の総合的な改革に関する懇談会
(第4回)資料より



政治的任用者と官僚の二層構造

政治家と官僚の二層構造＋大臣のアドバイザー

政治家、政治任用者、官僚の三層構造

基本的には政治家と官僚の二層構造

- (特徴)
- ① 行政府の政治家ポスト皆無 (議会との完全分離)
 - ② 基幹ポストに外部人材主体の政治任用
 - ③ 大統領と去就を共にするのが基本

- (特徴)
- ① 大臣から政務秘書官まで、多数の与党政治家が行政府へ
 - ② 政治家と官僚の二層構造の補完として、特別顧問に外部人材
 - ③ 特別顧問は政治的側面から大臣に助言・支援

- (特徴)
- ① 行政府の政治家の数はイギリスなどに比し限定的
 - ② 政治家と官僚の橋渡しとして、官僚主体の政治任用
 - ③ 仏の官僚出身の政治任用者には官吏としての身分保障、独の政治任用者には経済保障

- (現行制度)
- ① 平成13年の省庁再編時にイギリスにならって副大臣・大臣政務官制を導入
 - ② また、省庁再編時に、政治任用的なポストである内閣総理大臣補佐官の定員増、内閣官房副長官補及び内閣情報官の新設、内閣広報官の格上げ等を実施 (これらは特別職公務員)
 - ③ 内閣総理大臣及び国務大臣の秘書官が存在 (特別職公務員)

(政治任用の型) ↓

外部人材による
意思決定中枢コントロール型

(政治任用の型) ↓

外部人材による
高級アドバイザー型

(政治任用の型) ↓

官僚出身者による
政官の橋渡し型

(注) 議員と議員を辞職して行政府に入った元議員(仏の場合)を合わせた意味で「政治家」の語を用いた。